長野県赤穂高等学校商業科　令和元年（2019 年）12 月 20 日　発行

ビジネスをサイエンスする

創立103年目の挑戦！

AKAHO HIGH SCHOOL COMMERCE COURSE
商業科通信 vol.177

経済社会で役立つスキルを身につける　地域社会の問題を考え貢献する　困難な課題を突破する力を育てる

商業科３年課題研究「やっちゃえ赤穂！ブライダル」講座は、公募カップルの結婚式を実施しました！　【12月８日】

ついに迎えた本番当日。公募のカップルが決定してから、自分たちが背負った責任の重さをひしひしと感じながら、失敗は許されない重圧と向き合って準備をしてきました。当日は良い天気に恵まれ、最高の環境のなか、最高のウェディングを実施できました。関係者の皆様、ありがとうございました。

長野日報12/9掲載

新婦の後輩 門出後押し

公募のカップルを祝福

赤穂高生プロデュースの結婚式

駒ケ根高原

赤穂高校（駒ケ根市）商業科3年の有志14人が企画・準備を進めてきた結婚式が8日、駒ケ根市の駒ケ根高原にある「古民家ウェディング音の葉」で催された。公募の中から主役に選ばれた新郎新婦の輝かしい門出を、親族や友人ら77人が祝福した。（松井崇）

参列者との写真撮影に臨む林祐太さんと実穂さん

飯田の林祐太さん♥実穂さん

生徒有志は今年度、市内の結婚式関連事業者で構成する「駒ケ根高原幸せの森ブライダル協会」から結婚式のプランニングやヘアメイク、美容着付けなどを学んでいる。学習の成果を実践しようと結婚式の開催を決め、式を挙げるカップルを夏に募集。応募した5組の中から、飯田市在住の林祐太さん（25）、実穂さん（26）を選んだ。実穂さんは赤穂高校の卒業生だ。

生徒がプロデュースした結婚式に臨んだ2人は「これからしわが増えてどんなに年を重ねても、2人で困難を乗り越えます。幸せだったと感える人生を共に歩むことを誓います」などと誓いの言葉を述べた。

その後、参列者から折り鶴のシャワーを浴びたり、高校生が司会を務めた披露宴で乾杯をしたりして、至福のひとときを過ごした。実穂さんは「にぎやかで帰りたくなる家庭にしていきたい」と笑みを浮かべながら語っていた。

「最高」目指し頑張って準備

生徒有志の一人、奥村十月さん（18）は「新郎新婦への最高のプレゼントにしたいという思いで準備を頑張ってきた。結婚式が、新郎新婦にとっても一生の思い出に残ってくれればうれしい」と話した。

〒399-4117 長野県駒ケ根市赤穂 11041-4　直通電話 0265-82-7408